

(対象期間：2019/8/12～2019/8/16)

【株式市場】 SENSEX指数の推移
(2016年1月1日～2019年8月16日)

【株式市場】

アルゼンチンや香港の地政学リスクの高まりからアジア株式市場全体が軟調となった13日、インドは期待された一部外国人投資家への増税撤回発表が出ず、失望から下落しました。米国が対中関税に関して一部品目への発動を遅らせるとし、アジア市場が堅調となった14日、インドは前日に発表された消費者物価指数（CPI）が落ち着いた水準となったことを受け、10月の利下げ期待が高まって反発しました。週間では下落となりました。

2019/8/9	2019/8/16	変化率
37,581.91	37,350.33	-0.62%

※12日、15日は祝日のため休場。

【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2019年8月16日)

【債券市場】

13日、取引時間終了後に発表されるCPIを控え、インド10年国債利回りは警戒感から上昇（価格は下落）しました。発表されたCPIは前年同月比+3.15%と前月から大きく変わらない水準でした。14日は景気減速に対応するため財政出動が行われるとの憶測が広がり、財政赤字拡大懸念から債券価格は続落となりました。16日、前日の米国10年国債利回り低下や原油価格下落を受け、利回りは低下しましたが、週間では上昇となりました。

2019/8/9	2019/8/16	変化幅
6.498	6.545	+0.047

※12日、15日は祝日のため休場。

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移
(2016年1月1日～2019年8月16日)

【為替市場】

アルゼンチンや香港の地政学的リスクが懸念される局面でルピーは対米ドルで下落し、週間でも下落となりました。円も対米ドルで下落し、円の下落幅の方が大きかったことから、対円では上昇しました。

2019/8/9	2019/8/16	変化率
1.495	1.496	+0.08%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国グループ・デューデリジェンス

英国グループ・デューデリジェンスは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。